

ソケットリフトをマスターしよう！

高木幸人

上顎臼歯部のインプラント植立に際して、上顎洞の拡大により植立が困難となる場合が少なくない。適応症を拡大する手段としてサイナスリフトやソケットリフトなどの術式が開発され応用されている。

しかし、側方から窓開けをするサイナスリフトは、手術に熟練を要し、また患者にとって侵襲も大きく、一般開業医においては容易におこなえる術式とは言い難い。一方ソケットリフトは、歯槽頂からインプラント窩形成の際に上顎洞底部を穿孔させて骨補填をし、インプラントを植立する方法で、サイナスリフトに比べ手術侵襲は著しく低い。ソケットリフトには、ドリリング後の槌打法、オステオトームによる方法、専用のリーマーを用いる方法など様々な方法がある。ウインドウテクニックに比べて容易であるとはいえ、盲目的で洞底部穿孔は繊細な手指の感覚でしか分からない“職人技”が要求される。

近年、韓国製のソケットリフト用リーマーが注目を集めている。私は、そんな中から日本で販売されている二種類のリーマー、DSR (Disk-up Sinus Reamer) とハッチリーマーキット (Hatch Reamer Kit) を購入し、臨床で使用している。従来のオステオトームなどに比較して、より侵襲が低く、メンブレンの損傷も少なく好結果を得ている。さらに、骨補填にもリーマーを使用することでより多くの補填材を確実に注入できるために、予後に対しても信頼がおけると考えている。

スマイル倶楽部において、より確実なソケットリフトをマスターできるように 2 回シリーズでセミナーをおこなう。1 回目の今回は、ソケットリフトの概要と成功のポイント。そして、DSR とハッチリーマーによる臨床例を紹介する。次回 (来春予定) は、リーマーを使った Hands-on セミナーを行う予定だ。どのような器具を使用しても、基本を理解していないとうまくいかない。理論と実践を学びたいと思う。

この機会に、ぜひソケットリフトをマスターして適応症の拡大と成功率の向上を図ってほしい。